



発行

鎌倉市老人クラブ連合会

発行人 大久保安夫
編集人 都筑 健一
伊藤 高橋 実斌

〒248-8686

鎌倉市御成町18-10

鎌倉市老人クラブ連合会

(愛称・ゆめクラブ鎌倉)

☎ (0467) 61-3930

印刷 (株)博報社 大阪市平野区喜連西4-6-69 ☎ (06) 6797-0212

第57号



かまくらびとに聞く

鎌倉文学館館長 山内 静夫 氏



活性化委員会本格始動へ

県下の老人クラブの会員が、このところ年々減少しています。これは全国的な傾向のようです。一方、これから先五年間に六十歳を迎える団塊世代は一千万人ともいわれ、そのうち四〇〇万人がいずれ勤め先を退職されます。

市老連としては、これに対応するため昨年十一月に役員十三名で活性化委員会を発足させ、これまでも県老連の担当者や「百歳万歳」の編集長植松紀子氏をお招きして、意見をいただきました(七面に掲載)。しかし、その対応策は各地区によってさまざま、画一的に決めるのは難しく、会員の意見、要望に沿って実施していくことが最も大事なことと痛感しています。ついては各単位クラブの意見を地区長が掌握して下さること

いすれにしても、深刻な会員の減少の抑止策と新規加入会員の受け入れ策は、皆さまの英知をお借りして、来春を目標にまとめたいと考えていますので、何とぞお力添えのほど、お願いいたします。

(活性化委員会委員長 中田 良司)

やまもと57号主なもくじ

- 2面 山内静夫氏インタビュー
- 3面 ゆめクラブ鎌倉の動き
- 5面 鎌倉ゆかりの人・中野孝次
- 7面 加入増強・頑張るクラブ成功例
- 8面 座談会・鎌倉にあった映画館
- 9面 鎌倉散歩×私の好きな昔の鎌倉
- 10面 会員文芸、表紙の写真
- 12面 やまももさん、ご意見大募集

七月五日、私たちはバラが咲き誇る鎌倉文学館の前に立った。今日はシリーズ「かまくらびとに聞く」第五弾に登場いただく山内静夫氏インタビューの日。

山内氏は鎌倉文士として名高い里見弾の四男であり、作家有島武郎、画家有島生馬を伯父に持つ。また、松竹大船撮影所の歩みをつぶさに見てきた証人、映画監督小津安二郎の数少ない証言者でもある。独特の時間と空間で人生を謳歌している山内氏に、我々はたくさん質問を用意した。山内氏から流れ出でる温情あふれる言葉の数々を、私たちはゆっくりとかみしめたのだった。

(二頁へ続く)

鎌倉市的人口 175,778人 高齢化率(65歳以上) 全市 24.7% (地区別) 鎌倉地区 7.6%、腰越地区 4.2%、深沢地区 4.8%、大船地区 5.3%、玉縄地区 2.8% 平成18年9月末日現在 ※市全人口に対する割合
鎌倉市老連会員数 4,189人 (地区別 鎌倉地区 1,421人 (33.9%)、腰越地区 445人 (10.6%)、深沢地区 704人 (16.8%)、大船地区 957人 (22.9%)、玉縄地区 662人 (15.8%) 平成18年10月末現在
★鎌倉市老連ホームページアドレス <http://www.kamakura-rouren.jp/> ★メールアドレス info@kamakura-rouren.jp ◎数字は住民基本台帳をもとにしています

ゆめクラブ 鎌倉の動き

市老連活動の報告と情報のコーナー

平成十八年度功労者のつどい開催



▼不思議なマジック の数々を披露



▲マイム体操 見えない壁がたくさん?!

▲マイム体操

ゆめクラブ鎌倉作品展開催

11月8日～14日、JR鎌倉駅地下道「ギャラリー50」で、ゆめクラブ鎌倉作品展が開催された。今回は腰越・深沢地区の活動状況をパネルで紹介するとともに、25名の会員が作品を出展。プロ顔負けの作品の数々に多くの人が足を止め、感嘆の声をあげていた。



ばではじまつた第一部式典では、大久保会長のあいさつにつづき、功労者への表彰が行われました。今年度は優良老人クラブ二団体、十年在職功労会長二名、五年在職功労会長十四名、特別表彰（百歳を迎えた会員）三名、一般会員功労者七十五名が表彰を受けました。つづいて市長をはじめ来賓の方々に祝辞をいたいた後、極楽寺橋会山下氏が受賞者代

副会長の閉会のことばをもつて第一部は終了しました。

第一部のアトラクション（マジック・パントマイム）では、驚きと笑いの連続！ 会場全体に夢があふれていました。

地区だより

鎌倉第一地図

状況報告と提案

鎌倉第一地区長

現在、市老連は七つに分かれ

現在、市老連は七つに分かれ
て、それぞれの地区活動が連合
会にそのままつながるのが正
常な形と理解されている。しか
し、これが十分機能しないと當
初期待した成果が得られない。
ものゝとを進める上での一番
難しいところである。この隘路あいろ

もの」とを進める上での一番難しいといふである。この陥路をどう切り抜けるか、対応を誤ることなく行動することが好結果を生むことになる。

各地区で頻繁に活用されて
いるバス旅行も活性化に役立
たせようとすると、それなりに
配慮が必要である。それには各
単位クラブの会長ならびに担
当者が相互理解を深めるため、
魅力ある見学先をどのように
選定するか、その方法と場所で



ある。

本年四月の例をあげれば、ま

「」とは、「これからも試行錯誤を繰り返しながら軌道修正されてゆく」であつた。

から、はや一年数カ月が経過した。この組織変更で新たに「地区長」が誕生したが、この地区長の役割がまだ会員には十分理解されていないのが現状である。今後、地区的活性化に向けて地区長の役割は重要な「鍵」を握るのになると確信している。

第42回 老人大学寿講座開催

川端康成の作品と生きざま



講師・文芸評論家
尾島政雄氏

▼尾島氏の講演に思う

七月三日からレイウエル鎌倉で、恒例の寿講座が開催された。三日目の久能講師が急病で中止となつたが、文学・健康・歌唱と、参加者は講演会の魅力を充分に味わわれたようだつた。

今回は尾島氏の話について、その要点と私感を交えて書いてみたい。

この日は『康成文学の感性の探究』と『日本語の曖昧さのままの正確でもある独特の文学』(大江健三郎の川端評)に焦点をあて、大変納得のゆく鋭い指摘で、今後の小説の読みこみ方の参考になつた。例えば『伊豆の踊子』の峠の辺で後から来る女たちが、自分(康成)を「いい人ね」「それはそう、いい人らしい」「ほんとにいい人ね、いい人はいいね」と、この流して読み過ぎす会話も尾島氏の声の抑揚によって、意味ありのうまい会話の微妙さが理解される。また、峠のトンネルを希望の象徴として康成は捉える。



彼には生い立ちから「孤児根性」があつたが、その脱却をテーマとして重ねたとも考えられ、踊子の山越えは、彼の文学を踏み出した重要な体験を表現したとも説かれた。

次にノーベル文学賞受賞記念講演で、当初は『美しい日本と私』が演説のときには「と」から「の」になつた。

たつた一字の違いは、康成自身の日本文化の中における自身負となつて変わつたと、わずか一字の意味深さも、康成理解の一つのポイントに違ひない。

次に話された『山の音』の舞台についてはうなずけない。尾島氏は、最初に住んだ宅間ヶ谷(尾島氏は、ここがだいぶ好きらしい)ではないかと半ば決めつけられたが、同地と長谷の特徴を知つてゐる者として、たつた一年未満し十年だった。尾島氏の講演に刺激されて五十年ぶりに再読、今や信吾より一回り上の歳、長男一家と二世帯住宅である。もちろん今回初めて読むような読書体験である。また、いろいろな発見もあった。晩年の「みずうみ」「眠れる美女」「片腕」の主人公の萌芽が信吾にもみられたのだ。

尾島氏の講演で康成文学を読みだしたのは、私だけではないようだ。講演会の良さは行動に反映させるというのはこれが講演会を上手に聞く一手である。

蛇足だが「康成も、漱石も昔読んだ」で済ませているのはもつたまない。今こそ名著は「読み時」なのである。(K)

か住んでいなかつた宅間ヶ谷ではない。また、九年間住んだ蒲原有明の借家での覚園寺道入口の谷戸の雰囲気は大きいに愛したことではあろうが、描かれているのはここでもなく、二十四年から甘縄神社の境内隣に住み、裏の兜山(あきやま)の裾が自庭に広がる自然を五年かかつてたっぷり描きこんだこの地こそ『山の音』の舞台として特定されることにまちがいない。

『山の音』は康成五十歳から五十五歳の作。信吾は六十歳。私は二十二歳のとき読んだきりで、あとは成瀬の作品(原節子・山村聰)をみて読んで知つてゐるつもりの五年だった。尾島氏の講演に刺激されて五十年ぶりに再読、今や信吾より一回り上の歳、長男一家と二世帯住宅である。もちろん今回初めて読むような読書体験である。また、いろいろな発見もあった。

尾島氏の講演で康成文学を読みだしたのは、私だけではないようだ。講演会の良さは行動に反映させるというのはこれが講演会を上手に聞く一手である。

蛇足だが「康成も、漱石も昔読んだ」で済ませているのはもつたまない。今こそ名著は「読み時」なのである。(K)

教養部 第1回 鎌倉の歴史と秘宝を探る研修会



都筑 健一 (平成18年5月24日)

大事な寺となつて今日に至る。

次に満福寺に寄

る。行基が聖武天皇の命により、関

東で流行している

病気を除くために

鎌倉を訪れ、薬師

如来を彫つて寺を

建てた(天平十六年・七四四年)。義

経が平家を滅ぼし

て凱旋したのに、

頼朝は鎌倉にいれ

なかつた。弁慶が「腰越状」

を書いて弁明した。追われ

る身となつた義経の一生を

表現した襖絵、本尊の薬師

如来、腰越状の版本(江戸

期)、弁慶の腕などを拝観し

た。悲劇の武将として判官

びいきの波が広がつてゐる。

ボランティアガイド協会

前会長の戸口和江先生は、

ご多忙の最中にもかかわらず、豊富な資料を持参され

ての講義は熱が入り、こゆ

るぎ莊においての休憩時も

質疑や意見も多く、満席の

受講者からは感謝の声が絶

えなかつた。





新方の力が衰えて力が退化して、一本氣・興奮性・短氣でせつかち、我慢できない性格だが、先輩と同席上では懇切丁寧に世話をやさしさを持ち合わせた人であった。彼の過去からいくつかのエピソードをあげてみよう。

(1) 父の大工の後継ぎを嫌つて自ら進路を文業と決め、高検を受け、初志を貫徹した。

(2) 十八歳のとき、阿部次郎の『三太郎の日記』が当時は仲々手に入らず、岩波茂雄に直訴状を書かずにはいられなかつた。

(3) '85年、「文学界」で「戦後文学

生きる心の歎から発せられた言葉や文章がある。だから、それは人の心に直截に響く。ああ、この作家は嘘を言つていない。信じられると。それが文学として本物であるということだ」（文芸評論家・秋山駿）

中野孝次は、まず自分を俎上にのせ真剣に生きることを自分の文学の體にした。

去る七月十六日は、中野の早くも三周忌であった。前号には中野さんとの一期一會を書いた。今回は素顔の魅力と文業についての総括だ。

中野孝次「今ここに生きる」

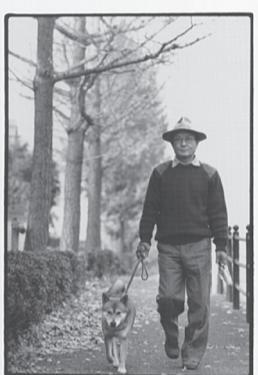
「今ここに生きる」 —— ハラス・断章取義・

・断章取義・
最後の言葉など――

二階堂白寿会
門田 京藏

の「内部」と「外部」という共
同討議があり、終始相当険悪な
言い分が多くたが、柄谷行人
に対して「何言つてやがんだ、

中野孝次展 —— 今ここに生き



「ハラスのいた日々」という動物文学の傑作も、高橋氏（後述）の講演によると「ハラス失踪の顛末」^(58・6)と「その死」⁽⁶⁰⁾の二短編を雑誌に書き、ハラスの死後あんまり悲嘆にくれているのを見て、高橋氏が「それなりいっそ、その思い出を全部書いてしまったら…」と提案した。中野は何度も書き直し、彼のつけた題は「犬が犬であること」、または「犬の条件」で

その純真無垢な行動は、生活の彩り、アクセントとして思い出に満ち溢れ、夫婦がいかに癒されたかしれない。私たちは彼女あと、他の犬を求めることがなかつた。

私たち夫婦も、犬の平均寿命も知らず、安易な気持ちで室内犬を飼つたが、十二歳の死まで、

を呴て起きて生きものがそこにはいて、愛を受けとめ向うもまた正価でそれに応じる。この心の通り合ひ方が何ともいえずいといつこゝへ一いはう。

運命的なものだった。ハラスの死後四年の空白はあったが、三十年同種の犬と暮らして「現代人にとつて犬とは」と単純だが心に迫る問題を提起してくれた。

ム以来、電話は回避、パソコン、FAX・インターネットとは無縁の生活。近隣への碁をうちしていくところには熱心だった。さて中野の人生にあって、犬

唯一一人死後を托され、死の連絡を受けた高橋一清氏の涙ながらの感動的な話を聞いた。その三は、この展示のため中野家より文学館に運ばれる資料整理中に『ガン日記』(4・2・28～3・18)——ガン判明から記述され、一曰退院した時メモをみて書かれたものがみつかった。

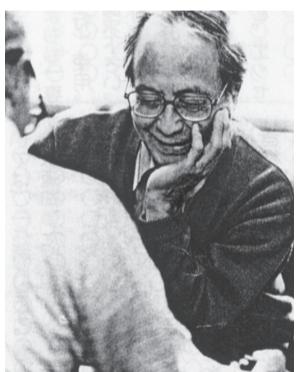
六月十日発表の『文芸春秋』に全文掲載され、実物は展示された。高橋氏によると「自身確認のための書き置きであつたと考へられる」とある。この日記

さでの夏、『里は戻る』
する三つの動きがあつた。
その一は、神奈川県立近代
文学館（二年前まで館長）で
六月十日から七月三十一日
まで「中野孝次展—今ここ
に生きる」が開かれ、その二
は七月一日に「作家中野孝次の
生き方—担当編集者（文春）28年

彼が色紙かサイン本の識語に「吾が生、既に蹉跎たり、諸縁を放下すべき時なり」とか「存命の喜び日々に樂しまざらんや」と徒然草からよく引いた。

そして彼の文業の最大の功績は、先輩たちが難渋な解題しかできなかつた先哲たちの言葉を「断章取義」と彼が自分で呼んだように、平易に説いたことだ。「一言半句でもいいから、ピカッと思に入つたものがあつたら、それをひっぱり出して今この生活の中で生かす。古典に近く一番の方法だ」と好きな文

あつた。「これでは先生、売れませんよ」と、高橋が考へた『ハラスのいた日々』に落ち着き、これが大ヒット。一人の温かい文情から生まれたこの本は、中野孝次の代名詞ともなつた。



〔今ココニ〕しかないと覺悟すれば、先に時があるかないかは、何の変わりもないわけである。人の生きる時は「今ココニ」だけ、これは唐代禪僧のだれもが実行した生であり、ローマのセネカが言うところでもある。(中略)今、延期期間が打ち切られようとしている時に直面して、あらためてセネカのその言葉を心に「言ひ聞かせる」。

「鎌倉福祉まつり」バザーで参加

女性・社会活動部 部長 伊藤 武子

秋の風を感じる九月三日、澄みきつた青空のもと「鎌倉福祉まつり」が市社会福祉センターで行われ、ゆめクラブ鎌倉も参加させていただきました。

午前十時、テープカットの後開場、あつという間に私たちの売り場には二重三重の人垣ができ、「我ら姥桜軍団の出番」と、みんな張りきりました。会計の相澤さんはカバンを首からさげ、釣り銭の小銭を箱に入れて大忙し。品物は飛びように売れ、三、四十分で机



健やかに老いよう

大蔵みなもとクラブ 壁谷 利之

百歳以上の元気なお年寄りの活動状況をテレビで見て祝福するとともに、自分も生活に留意してあやかりたいという願望があります。

私は現在八十五歳で、第一次大戦では南方を転戦しましたが、幸いにも生還しました。終戦後、会社勤めで順調に定年を迎える。その後、家族全員で行った数回の海外旅行や各種グループの年数回の国内旅行、その中でも特に、室内と弥次喜多の東海道五十三次を歩いたこと、自家用車での二回の四国八十八カ所巡りをしたことなどは良い思い出になっています。

現在まで家庭的に恵まれ「我が人生に悔いなし」できましたが、近年、体力の衰えを

ます健康第一で健やかに老いるよう努めます。



自覚させられ、好きな庭仕事・旅行・ハイキングなどにも足が遠のいてきました。現在、室内ともども健康ですが、今後介護をテレvisorで見えて祝福するとともに、自分

が、豊臣氏や徳川方の尽力で再興された。国宝、重要文化財、名園など貴重な寺宝を数多く伝えていている。その後、雄琴温泉へ向かい、名湯に労を和ませ宴樂て就寝。

一日目は比叡山延暦寺へ。根本中堂で比叡山の教えの一端を僧侶が由緒を説く。一二〇〇年前、伝教大師最澄は日本の安泰と国民の幸福を祈って仏教を比叡山に開いた。鎌倉時代にはさまざまな名僧が比叡山で修行されたそうだ。戦国時

代織田信長の比叡山焼き打ちの後、徳川家よりの尊崇を受けて再建復興を経て現在

長良川温泉へ。夕食後、軽装で観覧船へ。名物長良川の鵜飼観覧はおよそ一二〇〇年の歴史があり、宮内庁に属して現在に至るといわれる。漁法は鵜を使い、魚を捕る漁法で鵜舟が横隊で浅瀬に鮎を追いかけて

最終日は国宝犬山城へ。別名「白帝城」。山内一豊ゆかりの城である。岐阜城、小牧城を望み、決戦の地に思いを馳せる。戦国ロマンは古城のみぞ伝える。昭和十年国宝。他の彦根城・姫路城・松本城のなかでも最古の城である。

車中での懇談を楽しみながら帰途につく。今回の研修は、古都鎌倉が世界遺産

じませんでした。

いよいよお昼ごはん。例

年通り赤飯とおでん、会長からの差し入れの焼き鳥に冷たい麦茶を交替でいただきました。外のテラスで食べる食事はおいしく、下の舞台では力強い和太鼓の演奏・フラメンコ・よさこい踊りなど、みんな木陰で楽しそうに見物していました。

時までもたないという嬉しい悲鳴、一同顔を見合わせました。雑貨も男性の売り子さんが親切に説明をしながら完売。お客様とのやりとりも楽しく、疲れなど感じました。

二時少し前に売上の計算をして社協へ報告。今年は去年より品数が少なかつたので心配していましたが、昨年と変わらぬ売上があり、良かつたと胸をなでおろしました。

秋の研修旅行

世界遺産比叡山延暦寺と国宝犬山城の旅

雪ノ下寿会 都筑 健一



登録推進へと立ち上がり、認識を深める運動が盛り上がりを見せていく時、有意義な企画であった。

鎌倉にあった映画館 (資料は中央図書館、近代史資料室および渡辺朗氏の提供に負うところ大)

映画館名	所在地	付記
快々亭 (明治末～大正 12 年震災焼失)	◎長谷・柴崎牛乳、一筋観音寄り角	◎東京下町の親子来録し、寄席、大正 4 年から玉突場としたが、大正 5 年前後から活動写真館に転進
鎌倉劇場 (大正はじめ、または 6 年からうじて倒壊をまぬがれた) ↓ 鎌倉松竹映画劇場 (再建～昭和 36 年焼失)	◎塔の辻の大通り、現在の由比ヶ浜郵便局前、笹目寸松堂隣。現在マンション。	◎芝居小屋として開館、しかし浪花節が多かったが、のち活動写真館。 ◎再建後、芝居もやったが松竹直営館となって以降は松竹二番館であった。
鎌倉常設館 (大正 10 年～昭和 21 年) ↓ 鎌倉八幡前映画劇場 (昭和 21 年～23 年) ↓ テアトル鎌倉 (昭和 24 年～29 年) ↓ 鎌倉名画座 (昭和 29 年 12 月～35 年 6 月) ↓ 鎌倉東映 (昭和 35 年 6 月～39 年 9 月) ↓ 鎌倉名画座 (昭和 39 年 9 月～44 年 8 月)	◎若宮大路段葛中途を西へ入る ◎つづき写真館前 ◎鎌倉映画劇場と書いている人もいる(金子晋他)	◎日活無声映画から出発 ◎戦後、東宝、大映 ◎テアトル鎌倉の館名の時期がって、29 年西口に同名館開館で変更 ◎昭和 33 年 2 月 テアトル興業系列入り ◎昭和 39 年 9 月 名画座に戻り東宝系中心だったが、最後は東映作品が上映されていた
鎌倉市民座 (昭和 23 年～25 年) ↓ 鎌倉市民会館 (昭和 25 年 3 月～39 年 10 月)	◎現駿河銀行 (その前 1 階はボーリング場、2 階は商工会議所)	◎市民座の時期は野外劇場 ◎主に一貫してアメリカ映画 ◎特に洋画の特別試写会もあった ◎市民は引き続き市民座とよんだ
テアトル鎌倉 (昭和 29 年 12 月～63 年 4 月)	◎駅西口正面 ◎リニューアルオープン (昭和 39 年 12 月) 1F ゲームセンター 2F 映画館	◎東京テアトル興業系列となる(昭和 33 年) ◎東宝映画中心に上映
鎌倉劇場(鎌倉シネマ) (昭和 31 年～39 年頃)	◎御成通りから中学校方向に入り左	◎上映物で近所の反対
大船オデオン (昭和 30 年～平成 6 年)	◎大船駅前仲通	◎藤沢オデオン姉妹館 ◎寅さんものが多かった



市民座

戦後は東宝・大映の主要作品「わが青春に悔いなし」の黒沢から成瀬・今井（正等の邦画最盛期の名作はほとんどどこで見られたが座席数が少なかつたので）較的混んでいた」。

今も懐かしがり、話題にのるのが市民座である。現在の駿河銀行の場所に昭和二十五年～二十五年は野外劇場で

た西口の駅前もアーチ型の閉鎖せざるをえなくなった。閉鎖予告があつた時、今日出席の藤本さんたちが「ニアトリ・鎌倉」の灯を消すな」と署名運動を行つたが残念ながら閉館。彼らたちは平成元年から「ムツシユ・シネマ（鎌倉で映画と共に歩む会）」を作り、年に何回か映画会を主催している。

二 座談会要旨

青春懷古



鎌倉にあつた映画館

その存在を検証する

存在を検証する
え・和田 誠、山藤章一

出席者

島屋主人 今田 正廣
やまもも編集長・写真館館主 都筑 健一
中央図書館近代史資料室 平田 恵美
鎌倉で映画と共に歩む会代表 藤本美津子
司会・やまもも編集 門田 京蔵



鎌倉松竹映画劇場



鎌倉常設館 (ニアトル鎌倉の館名の時)

昭和十年頃、椅子席に変わり、松竹直営館になつてからは忠実なる一番館として松竹映画を上映した。

「私は二十一年の『そよかぜ』から、木下・吉村・渋谷等の戦後の名作から、『晩春』以降の小津の松竹での作品はここで観た。二十九年の『二十四の瞳』の時だけ満員で通路に座つてみたが、『秋刀魚の味』の時は、この映画館はなかつた。」





二又十八錢金

雨の日は上映中止、暗くないとはじまらない。主にメリカ映画だが、時に洋画邦画の試写会があった。二五年に日本貿易博覧会場ら、蒲鉾型の木造建造物を築し、この時から「鎌倉市会館」と呼び名が変わった。ボクシング試合・音楽会・前進座の芝居・文士劇・米正雄の葬儀と多用されたこの劇場は文士たち、小監督も顔を見せ、一種独の雰囲気があった。

ニアトル鎌倉

二十九年末、駅西口前に「ニアトル鎌倉」が開場する。東

アトル鎌倉」を名乗っていた。時もあつて、今回の話でも混乱した。こゝははじめから三味線の伴奏で上映した。鼓橋の前でチャンバラを演じて、「今宵は常設館にておまち申しております」と街頭宣伝もやつた。映画館の前の「真館の都筑少年は「管理していた親切なおじさんに裏口から入れてもらつた。棧敷席の後部には警察官の臨官席がちつた。邦画専門で阪妻主演の、戦争もの、『怪傑黒頭巾』が一番好きだつた」。やはりここも十年には椅子席になっており、この館の慣習として休憩時間には左右の戸を開け、空気の入替を行つた。

アトル金倉」が開場し、東
中心で「黒沢作品は主にこ
で見た。東映の吐夢の『飢
海峽』があつたが特別上映
つたのか?」。三十二年、「
京のテアトル」の直営館と
り、さらに三十九年上・下
割しリニューアルしたが、
の入りが悪く、三十四年続
た西口の象徴も六十三年閉
せざるをえなくなつた。閉
予告があつた時、今日出席
藤本さんたちが「テアトル
鎌倉」の灯を消すな」と署
運動を行つたが残念ながら
館。彼らたちは平成元年か
「ムツシユ・シネマ(鎌倉
映画と共に歩む会)」を作り
年に何回か映画会を主催し
いる。

◆表紙の写真 鎌倉文学館

加賀百万石の藩主旧前田侯爵家の別邸を改築して開館した文学館。鎌倉にゆかりの深い作家・大佛次郎、川端康成、芥川龍之介などの直筆原稿や手紙、愛用品などを展示している。2階からは緑に包まれた鎌倉の街並みと由比ヶ浜を見渡せる。また広い庭園は、春と秋にみごとなバラの花で彩られる。所要 30 分。

◆アクセス

江ノ島電鉄由比ヶ浜駅→徒歩 7 分
京急・江ノ電バス「海岸通り」
バス停下車→徒歩 2 分

◆駐車場 なし

◆料金 入館 300 円～400 円
(企画展により異なる)

※福寿手帳提示により無料

◆営業時間 9 時～17 時

※10～2 月は 9 時～16 時 30 分

※入館は閉館 30 分前まで

◆休館日 月曜 (祝日の場合は翌日)、展示替え期間

◆問い合わせ TEL 0467-23-3911

効き過ぎしクーラーに冷え敗戦日

子等の目を集めて楽し西瓜切る

七里ガ浜句会 棟渡登志子



いく重にも重なる花火目に残り

ふりかぶり砂浜叩く西瓜割り

七里ガ浜句会 松原 薫

万綠に観音ひたりておわすかな

店仕舞続く通りや夏燕

七里ガ浜句会 加野 ヨウ

拗ねていてそれでも西瓜気にかかる

七里ガ浜句会 阿部 弥生

あかね雲天のかんざしそるすべり

七里ガ浜句会 山内瓜ヶ谷梅鳶会



俳句

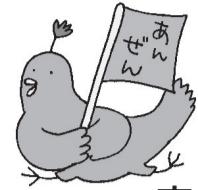
浜木綿や光りきらめく忘れ潮
七里ガ浜句会 米澤せつ子

同窓会名を呼びあいて秋日和

小菊咲く籠いつぱいに挿してみる
七里ガ浜句会 敦賀 笑子

あかね雲天のかんざしそるすべり

山内瓜ヶ谷梅鳶会 山下カヨ子



安心して暮らせるまちを目指して ～犯罪被害にあわないとために～

地域ぐるみで防犯に取り組もう

皆さんには「自分は犯罪被害とは無縁だ」と思っているかもしれませんか?

しかし、テレビや新聞では、日夜、犯罪被害の報道が後を絶ちません。犯罪者は、人間のわずかな心の隙を突いて、あの手この手を駆使して狙っているのです。

犯罪は、決して他人事ではありません。身近に起っている犯罪状況を知り、自分や家族などが被害にあわないように、防犯意識を持ち、防犯対策に心がけましょう。

振り込む前に、最寄りの警察に相談しましょう。

【訪問販売等】

親切を装つて近づき、必要な商品購入を契約させるものです。昨年度の統計によると、鎌倉市内の消費生

活相談の第一位が契約のトラブルで、六十歳以上の被

害者による相談件数が全体の約三十五%を占めています。話術が巧みなセールスマンが多いようです。

【対策】

◎不用意に話を聞かない、ドアを開けない。

◎必要のないものは、はつきりと断る。

昨年、下校中の児童を狙う痛ましい事件が相次いで起き、学校や保護者はもちろんのこと、一般社会にも衝撃が走り憂慮する事態となりました。日ごろから町内でも防犯に心がけ対策を進めてきましたが、地域内にある稻村ガ崎小学校のPTA役員および保護者より、地区内の老人クラブに協力要請があり、昨年十二月末、稻穂会・若葉会・橋会・山百合会の会員による「子ども安全パトロール隊」(現在四十一名)が発足いたしました。

昨年の終わりごろは、登下校時の子どもたちにいつものように声をかけても何も言葉が返ってきませんでした。夕暮れ時、遊んでいる子どもに地元の人が「寒くなるから早くお家に帰りなさい」と言うと、怖がるようになってしまった。夕暮れ時、遊んでいた子どもに地元の人が「寒くなるから早くお家に帰りなさい」と言うと、怖がる

ため、安心して「ここにちは」「どこ行くの」と、子どもたちの方から声をかけてくれるようになりました。

老人クラブも地域の中に溶け込み、学校やPTAと連携しながら無理なくできることから協力し、純真な地域の子どもたちを守るために、犯罪を起こさせない、犯罪にあわせない環境づくりが必要だと思っております。

発足「子ども安全パトロール隊」

安全安心の町づくり

鎌倉第二地区極楽寺橋会
山下ヨシ枝

「子ども安全パトロール隊」のプレートを吊り下げています。自転車や車を利用する人は車両用プレートをつけています。

地域住民が力を合わせて取り組んでいることでアピールできれば、犯罪の抑止効果に繋がると思っています。



最近は子どもたちの意識にも変化を感じられます。無理もないことです。

「子ども安全パトロール隊」のプレートを吊り下げています。

振り込め詐欺

孫や子どもを装った犯人

市内では、高齢者が被害にあう次の事件が発生しています。まず、身近な日常生活の防犯対策から始めましょう。

町内会役員は腕章をつけました。

など、毅然とした態度で応対しましよう。

【対策】

◎不用意に話を聞かない、ドアを開けない。

◎必要のないものは、はつきりと断る。

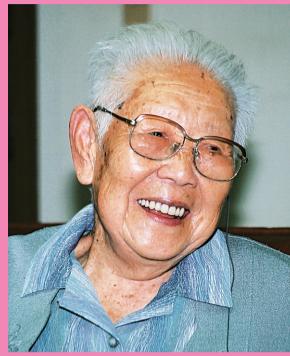
が、①使い込み②連帯保証人③事故の示談金等、他人に相談できないような状況を設定し、現金をだまし取るという卑劣な犯罪です。鎌倉市内においては、今年上半期で十一件の被害が確認され、被害者の大半が高齢者となっています。

対策

◎日々から身内との連絡

お知らせ 仲間づくり いきいき健康マージャン入門教室 参加者募集

- ◆開催期間 1/16(火)、1/30(火)、2/6(火)、2/13(火)、2/20(火)、3/6(火)、3/13(火)、3/20(火)
- ◆開催場所 手広西公会堂(深沢消防署徒歩5分)
- ◆開催時間等
- ◎入門(初級)教室 15時~17時(定員35名)
- ◆募集要件 市内在住概ね60歳以上
- ◆参加費 全8回8,000円(テキスト代別途)
- ◆応募方法(募集期間12/1~12/10必着)
 - ◎老人クラブ会員は地区長に申し込むこと。
 - ◎一般の方は往復はがき(はがき記入例参照)にて。※はがきの裏に①事業名②住所③氏名(ふりがな)④年齢⑤性別⑥電話番号を記入しご送付ください。(返信には住所・氏名を必ず記載してください)
- 〒248-0036 鎌倉市手広4-9-26 坂尻正行宛
- ※問い合わせ ☎ 61-3930



今号のやまももさん

十二所第一ちとせ会
伊藤正子さん(99歳)でごろまみれだつたけど、
年中楽しかつた」と太陽の
ような明るい笑顔を浮か
んは、明治四十一年十月二
十五日、山梨生まれ。二十
もんべは重宝され、皆に作
り方を手ほどきしたと
いう。子どもたちの通
学服もどうだ。「買え
る家はいいけど、買え

「ただ夢中で働き、百姓
でごろまみれだつたけど、
年中楽しかつた」と太陽の
ような明るい笑顔を浮か
んは、明治四十一年十月二
十五日、山梨生まれ。二十
もんべは重宝され、皆に作
り方を手ほどきしたと
いう。子どもたちの通
学服もどうだ。「買え
る家はいいけど、買え

六歳のときに鎌倉へやつて
きた。

山梨では小さい子どもか
ら大人まで女性はもんべを
はいていた。当時腰巻きが
主流だった鎌倉で機能的な
もんべは重宝され、皆に作
り方を手ほどきしたと
いう。子どもたちの通
学服もどうだ。「買え
る家はいいけど、買え

ない家は困る。だから全員
揃えて制服にしてほしい」と
と校長に直談判し、制服を
導入させた。昔からリーダ
ー格だった伊藤さんの果敢
さがうかがえる。

また、忘年会では都々逸
りを盛り上げる一面も。
「生きてるうちに大事な
こと全部やつちやつた」と
笑う伊藤さんのパワーの秘
密は、「あれがいやだ、こ
れがいやだと言わないで、
人のために自分のできること
ついた。

◆スポンサー各位へ御礼◆

「やまもも」発行に際しご協賛いたしました各位に厚く御礼申し上げます。本紙は会員相互の交流と生きがい向上に、さらに内容の充実に励んでまいります。今後も倍旧のご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

ゆめクラブ鎌倉

★おことわり

巻末シリーズ「鎌倉散歩」
は拡大版として九面に掲載
しています。

とは何でも一生懸命すること。矢面に立つて地域を
引っ張り、「先頭に立つて皆をまとめて後押ししてく
れる」と地域の絶大な信頼を得る。自分さえ良ければ
それでいいという風潮の現
代のままにお手本である。優しいご家族にも囲まれ
て、今日も伊藤さんの周りには微笑みと明るさが絶え
ない。お話を終え外に出ると雨もあがり、どんよりし
ていた空がぱッと明るくなっていた。

加入促進が問題視される今、本紙「やまもも」も活性化の一端を担うと考え、今後さらなる紙面の充実を図りたいと思います。読者のみなさんの率直なご意見、ご要望をお聞かせ下さい。

また、あわせて「ゆめクラブ鎌倉」へのご意見も募集いたします。日ごろ考えている運営改革、単位クラブ運営の悩みなど、中央に伝えたい事をどんなことでもよいので、明記のうえ提出して下さい。今回の提言は必ず連合会役員に届け、今後の運営に反映いたします。どんな紙でも形式は自由ですので、ご記入のうえ「ゆめクラブ鎌倉事務局」に提出ください。

ご意見大募集!

「ゆめクラブ鎌倉」と、

回答者
全員に
粗品
プレゼント!A:一番はじめに关心深く読む記事
[①~⑯のうち順番を付けて3つ選んで下さい]

- ①かまくらびとに聞く
- ②一頁エッセイ(不定期)【理智光寺跡探訪など】
- ③鎌倉ゆかりの人【中野孝次、原節子、横山隆一など】
- ④ゆめクラブ鎌倉の動き【総会・功労者の集い報告など】
- ⑤ゆめクラブ鎌倉の動き【老人大学寿講座状況報告】
- ⑥ゆめクラブ鎌倉の動き【スポーツ行事等報告】
- ⑦ゆめクラブ鎌倉の動き【研修旅行のリポート】
- ⑧単位クラブ紹介、地区活動紹介
- ⑨老人クラブ加入促進関連記事
- ⑩投稿コーナー【私の海、大船撮影所、私の秘密の場所など】
- ⑪行政からのお知らせ
- ⑫やまももさん
- ⑬文芸【俳句】
- ⑭鎌倉散歩

B:あまり関心がなく読みとばしてしまうものが
あればご記入下さい。(①~⑯の番号記入でも可)

C:「こんな記事があれば…」という企画があればいくつでもよいのでご記入下さい。

D:本紙は「保存」か「読後廃棄」どちらですか?

E:本紙の総体的なご意見、ご感想をご記入下さい。

F:「ゆめクラブ鎌倉」へのご意見を記入下さい。

248-8686
鎌倉市役所
高齢者福祉課内
ゆめクラブ
鎌倉事務局
「やまもも
アンケート」係

▲記入例
A:①、②、③
B:①、②、③
C:~~~~~
D:保存または廃棄
E:~~~~~
F:~~~~~

く応募締切
平成19年1月10日(水)

★アンケートに投稿された方全員に
“粗品”を進呈いたします!ただし、
粗品を差し上げるのは会員のみとさ
せていただきます。
★今回の投稿分についてはできる限
り次号の総面に反映していきたいと
思っていますので、ふるってご応募ください。

原稿募集・投稿規定

会員の皆さまからのご
投稿をお願いいたします。◎原稿用紙は「やまもも」
専用用紙(12字×13行)
使用。用紙は編集部宛て
請求下さい。◎次号「鎌倉海浜ホテル」
を特集予定。ホテルの思
い出がある方は、はがき
にてお寄せください。◎「単位クラブ活動紹介」
六三〇字、「自由題」六〇
〇字、「すすめたい鎌倉觀
光スポット」六六〇字程度
(いすれも写真二~三
枚添付)。詩、短歌、俳句、
川柳などもお気軽にどう
ぞ。お待ちしております。
◎送り先 〒248-18
686 鎌倉市役所高齢
者福祉課内ゆめクラブ鎌

とは何でも一生懸命すること。
引っ張り、「先頭に立つて皆をまとめて後押ししてく
れる」と地域の絶大な信頼を得る。自分さえ良ければ
それでいいという風潮の現
代のままにお手本である。優しいご家族にも囲まれ
て、今日も伊藤さんの周りには微笑みと明るさが絶え
ない。お話を終え外に出ると雨もあがり、どんよりし
ていた空がぱっと明るくなっていた。

編集後記

▼「やまもも」もリフレ
ッシュして、早や八号と
なりました。ここら辺り
で今後の内容編成を検討
したいと思い、皆さまの
率直なご意見を伺うこと
にしました。是非アンケ
ートにご協力下さいます。
よう、お願いいたします。



倉事務局(鎌倉市御成町
18-10)まで。
◎原稿締め切りは、平成
十九年二月末日まで。

※紙面割りの都合で、原
稿の採用、内容の一部修
正等についてはご一任願
います。原稿等は返却い
たしません。